

「大城小学校の昔ながらの米づくり伝承活動の取組」

1 学校名

和泊町立大城小学校

2 学年・人数

小学1年生から6年生（計47名）

3 日時・場所

- (1) 活動の日時（場所）：1月 種まき・育苗（大城小学校郷土資料室）
2月下旬 代かき（大城小学校学校田）
3月上旬 田植え（同上）
6月下旬 稲刈り（同上）
11月上旬 餅つき（大城小学校中庭）
- (2) 発表の日時（場所）：12月1日 開校記念日学習発表会で発表（大城小体育館）

4 伝承・活用に取り組んでいる伝統行事について

- (1) 名称：大城小学校の昔ながらの米づくり
(2) 由来

校歌に「美田（うましだ）下に見下ろして」とあるように、かつて米作りが盛んだった大城小学校区。減反政策により沖永良部から田んぼが姿を消す中、子どもたちに昔の米づくりを経験させたいとの地域・教員の願いから、昭和60年に学校横に田んぼを復活させ、以来毎年米づくりを行っている。

5 保存会や地域との連携の具体

活動は大城小PTAを中心に、PTAのOBで組織する準会員の方々の協力を得ながら進めている。かつて米栽培を行っていた方に指導していただいた種籾の保存・選別法、育苗法を継承し、代かき、田植え、稲刈り時も指導、協力をいただいている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

5年生を中心に米づくりを総合的な学習の時間の単元に位置付け、体験的学習を展開し、学習発表会の際に発表している。また、学校のキャッチフレーズ「祖先の知恵を受け継ぐ大城小」の具現化を期して、餅つき大会には地域のお年寄りを招待し、つきたての餅を振る舞っている。12月1日の開校記念日には、お米の販売も行い、好評を得ている。今年は、米づくり復活の動きが内城校区にも広がってきた。

7 取組の様子



〔大城小学校田での田植え〕



〔大城小学校田での稲刈り〕



〔餅つき大会〕



〔学習発表会での5年生の発表〕

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

〔児童〕

この活動を通して、地域の方にいろいろな話を伺うことができた。大城小学校の周りには、40年ぐらい前までたくさん田んぼがあったこと、地域の願いで復活したことを知った。米づくりは、みんなが手作業で協力して取り組む。米を一から育てるのはとても大変だが、だからこそ米のありがたさが分かった。

〔PTA〕

「大城小の校歌にある昔ながらの米づくりを子どもたちに体験させよう」との先輩方の思いを引き継ぎ、本年度も米づくりに取り組んだ。児童数の減少に伴いPTA会員数も減少しているが、郷土の特色ある貴重な活動として、今後も学校とともに続けていきたい。

〔教員〕

昔ながらの米づくり体験を通じて、郷土の先人の知恵や苦勞を学ぶ貴重な機会となっている。地域の方々の指導や協力、ふれ合い交流等、恵まれた教育環境の下で子どもたちはすくすくと育っている。今後も、米づくり体験等の「祖先の知恵を受け継ぐ大城小」を推進し、「生きて働く力」の育成に努めたい。